

2023都立高校入試問題分析

市進学院

日比谷の国語

配点 大問1 10点 大問2 10点 大問3 28点 大問4 32点 大問5 20点

2023年度試験問題

目標点 65点

設問ごと分析

	出題内容	難易度	配点		出題内容	難易度	配点
大問1	漢字の読み			大問4	論説文		
	(1) 繰る	B	2	問1	内容把握	B	4
	(2) 宰相	A	2	問2	内容把握	A	4
	(3) 汎用	A	2	問3	内容把握	A	4
	(4) 素封家	C	2	問4	内容把握	B	4
	(5) 青松	A	2	問5	内容把握	B	4
大問2	漢字の書き			問6	250字作文	C	12
	(1) リクゾク	B	2				
	(2) カンケン	E	2	大問5	現代融合文		
	(3) シする	D	2	問1	助詞	A	4
	(4) サクテイ	B	2	問2	内容把握	A	4
	(5) コッシ	B	2	問3	内容把握	B	4
大問3	小説文			問4	内容把握	B	4
	問1 心情把握	B	4	問5	内容把握	B	4
	問2 心情把握	A	4				
	問3 心情把握	A	4				
	問4 心情把握	A	4				
	問5 心情把握	C	4				
	問6 内容把握	C	8				

問題分析

- 1 漢字の読み 2漢字の書き 3 小説文(約3300字)
4 論説文(約3500字) 5現代融合文(約3800字)

講評 昨年度より文章量は約2000字減少しているが、レベルは昨年とほぼ同じ。

- 1 「繰る(くる)」(40.5%)「素封家(そほうか)」(22.8%)が低得点。読書量で要改善。
2 「カンケン=管見」(0.4%)「シする=資する」(7.6%)が低得点。難易度は高い。

- 3 小説文は破門した長谷川信春の襖絵を見る野野永徳の心情を描いたものから出題。
問6の80字以内の記述以上に問1の選択肢で誤答多し。

- 4 「科学的知見で作成された近代地図によって人類共通の世界像が形成された」という文章から出題。問5、筆者の主張についての選択肢は正答率が41.4%。
文章全体の大意を掴む必要あり。250字の作文は論理性が鍵となる。
作文の題「他との違いや個性を保っているもののよさや問題点など」について

- 5 伝統的な和歌世界と心敬の重んじる世界観についての文章。
正答率はかなり高い。
無常観を「自己の死を意識」する心境と結びつけることができるかがポイント。
※大問4より大問5を先に解答するテクニックも必要。

日比谷の数学

配点 大問1 25点 大問2 25点 大問3 25点 大問4 25点 (記述3題)

2023年度試験問題

目標点 50点

設問ごと分析

	出題内容	難易度	配点		出題内容	難易度	配点
大問1	小問集			大問3	平面図形		
	問1 根号を含む計算	A	5	問1	円周角	A	7
	問2 二次方程式	A	5	問2(1)	円がらみの証明	C	10
	問3 一次関数の変域	A	5	問2(2)	平行線と線分比	C	8
	問4 確率(カード)	B	5				
	問5 作図	A	5				
				大問4	空間図形		
大問2	関数			問1	平行線と線分比	B	7
	問1 線分比	B	7	問2	三平方の定理	C	10
	問2 放物線の性質	B	10	問3	円周角など	D	8
	問3 文字式の利用	C	8				

問題分析

- 1 小問集+作図(円と接線) 2 関数 二次関数
3 平面図形(円) 4 空間図形(円すい)

講評

- 他の自作作成問題校と比べても特に難しいわけではない。
少し難しめの問題を着実に解ききる力を求められている。記述力は必要。
1 例年通りの出題。問4の確率以外は難易度もあまり高くなく、全問正解を目指したい。
問4は時間がかかるので、出来に差がついたと思われる。
2 例年通りの放物線の問題。得点源にしたい分野。平行線と線分比は入試頻出分野。
しっかり練習を積んでおきたい。座標を文字で置くことに慣れること。
3 円の問題。「円周角の定理」はしっかり練習しておく必要がある。
証明は完璧でなくても良いので、必ず書く練習をしておく。部分点を取りに行く。
4 問2問3は問題用紙に図形が書かれていないので自分で図を書く必要あり。
国立大学入試を意識した出題。

日比谷の英語

配点 大問1 20点 大問2 34点 大問3 34点 大問4 12点 (英作文3題)

2023年度試験問題

目標点 60点

設問ごと分析

	出題内容	難易度	配点		出題内容	難易度	配点
大問1	リスニング			大問3	説明文読解		
	問題A 対話文1 内容一致	A	4	問1	内容一致	B	4
	対話文2 内容一致	A	4	問2	不要な文の選択	A	4
	対話文3 内容一致	A	4	問3	空所補充	A	4
	問題B Q1 内容一致	A	4	問4	内容一致	B	4
	Q2 内容一致記述	B	4	問5	英作文	D	6
				問6	適所選択	B	4
大問2	対話文読解			問7	内容一致	B	8
	問1 内容一致	A	4				
	問2 語句整序	C	4	大問4	英作文		
	問3 空所補充	A	4		自由英作文	C	12
	問4 内容一致	B	4				
	問5 英作文	C	10				
	問6 内容一致	B	8				

問題分析

- 1リスニング 2対話文(約1300語) 3 説明文(約1300語) 4 英作文

講評 昨年度よりやや難しくなった。英作文で得点差がついた様子。

- 1 B Q2の正答率は58.2%。What does Emily want the students to do ~? に対して「To visit other countries.」とするところを「To keep studying English.」とする誤答が目立つ。
2 「代替肉を利用することによる地球を取り巻く諸問題の解決」がテーマ。
西高校の大問3の説明文と全く同じテーマ。SDGsを意識した出題。
問5英作文(配点10点)の得点率が8.2%。ここで差がついている。
3 「身の回りにある道具のデザインが及ぼす効果や役割」について
問5 英作文(6点配点)の得点率が7.9%。文章の流れに合うよう15語以上の英文を書かなければならない。
4 英作文は50語以上で「文化祭の演劇で上演するものを資料を見て根拠を上げつつA又はBから選ぶ」というもの。昨年、一昨年と比べてシンプルになったがその分、論理性を問う内容が要求される。

※網掛けが濃い設問は記述の設問です。

2023目標点 英数国170+理社165=335
目標内申 63/65

難易度の標記

- A: 易しい(全問正解したい) 目安→正答率80%以上
B: 標準(落とせない) 目安→正答率70~60%
C: やや難問(合否を分ける問題) 目安→正答率50~40%
D: 難問(1問でも出来ればよし) 目安→正答率30~10%
E: 超難問(できなくても気にしない) 目安→正答率10%以下